

News

令和7年度人材育成講座

令和7年度も地域企業の技術力・人材力向上を目的とした各種講座を開講します。上半期の日程を掲載しております。年間計画の詳細は、当センターのホームページをご覧ください。

		内 容	実施日
分析系	分析技術基礎講座	分析化学、分析技術の基礎を学びます。また、当センターでどのような分析ができるかを理解し、最適な分析機器の選択方法について学びます。 ①分析化学基礎コース：(講義)分析化学基礎、試料の前処理について ②機器分析基礎コース：(講義)分析機器の概要 (実習)成分分析、異物分析について学びます。	①6月5日(木) ②6月6日(金) ※①～②から選択(複数受講可)各半日です。
	オーダーメイド分析	“各社からお持ちいただいたサンプルの分析”を前提とした講座です。正しいデータを取得するための前処理方法、最適な分析機器の選択など、個々のサンプルに最適な分析手法について学んでいただきます。まずはどんなデータがとれるか試したい方にもオススメです。	5月9日～令和8年2月27日迄 1週間前迄事前予約要。先着順。
	粒子測定装置習得講座	マイクロトラックベル社Zeta-view粒子測定装置の測定原理を理解し、実際の測定(実習)を行います。	5月9日～令和8年2月27日迄 1週間前迄事前予約要。先着順。
	栄養成分分析装置習得講座	ビーエルテック社スペクトラクター2600XT-Rの測定原理を理解し、実際の測定(実習)を行います。	5月9日～令和8年2月27日迄 1週間前迄事前予約要。先着順。
材料系	金属材料講座	金属材料の基本的な性質や特性、熱処理、強度改善方法についての知識の習得を目指します。 ①金属組織観察研修：(講義)金属の結晶構造、金属の熱処理 (実習)光学顕微鏡観察の基礎 ②金属材料試験及び破面観察研修：(講義)金属材料の強度、破面解析 (実習)引張試験、硬度測定、破面観察	①9月9日(火) ②9月10日(水) ※①～②から選択(複数受講可)各1日間です。
	品質管理入門講座	初めて品質管理を学ぶ人を対象とし、QC検定4級の内容を交えながら、基礎的知識の習得を目指します。 ①品質管理の基礎、品質管理活動に関する基本知識 ②データとその要約の仕方データのまとめ方(QC7つ道具) ③問題解決の方法、標準化、演習	5月30日(金) 6月 6日(金) 6月13日(金) 3日間の講座です。
品質管理系	QC検定3級取得支援講座(平日コース)1回目	テキストの解説だけでなく、実際の計算や作図を通じた理解を通して、QC検定3級の取得を目指します。 ①品質管理概論、品質管理の手法、品質管理実施法など ②問題解決、標準化、品質保証活動など ③演習問題、解説など	7月4日(金) 7月11日(金) 7月18日(金) 3日間の講座です。
	QC検定3級取得支援講座(土曜コース)		7月5日(土) 7月12日(土) 7月19日(土) 3日間の講座です。

NEWS

新規加入賛助会員のご紹介

株式会社 三華 一関花泉工場 様
株式会社 高橋工業 様

ご加入いただきまして、誠にありがとうございます。どうぞよろしく願いいたします。
当センターでは賛助会員を募集しております。
令和7年4月時点で、賛助会員 95社1個人です。



6月は
第3水曜日が・・・
イブニングの日

6月18日(水)の開催です。皆様お誘い合わせのうえ、ご参加頂きますようお願いいたします。

★第260回産学官イブニング研究交流会へのご案内

場所:ホテル松の薫一関
日時:令和7年6月18日(水)
参加費:5,000円

講師:一関高専情報・ソフトウェア系
川島朋尚 様

岩手県知財総合支援窓口では、知的財産に関する発明無料相談会を開催しています。

令和7年度の年間スケジュールは下記の通りです。

※本相談窓口は、独立行政法人 工業所有権情報・研修館(INPIT)の「知的財産総合支援窓口運營業務」です。

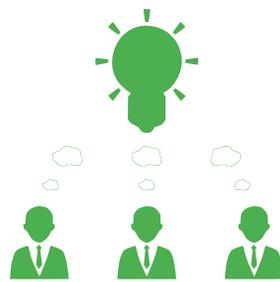
◇会場：公益財団法人岩手県南技術研究センター

・令和7年9月3日、11月19日、令和8年3月4日 各日13時～16時

いずれも、相談時間はお一人当たり45分程度です。

ご相談を希望される方は、事前に電話でお申込みください。

予約先は、受託機関：株式会社タスクール TEL 019-656-6017 です。



第40回品質管理検定（2025年9月実施分）について

例年9月、市内に団体受検会場を設置して筆記方式による品質管理検定を実施してまいりましたが、検定業務を主催する（一財）日本規格協会から、3級・4級の試験形式を各地域に設置するコンピュータ受検（CBT試験）に変更する発表がありました。

これに伴い、令和7年度からの品質管理検定は、試験会場で特定の日に一斉に受検する方式ではなく、各地域の試験会場において、一定期間内に受検していただくこととなります。

今後、品質管理検定を受検される場合は、個人又は会社などの団体が（一財）日本規格協会に申し込みを行い、日程調整の上、受検していただくこととなります。

受検までの詳細なスケジュール、申込方法等については、日本規格協会グループのホームページをご確認ください。

化学（ケミストリー）の視点 ★連載版No.22

※今回の担当は、当センター技師の手島です。

～温泉と湯の華～

温泉水は、水にさまざまな成分が溶け込んだ「天然の水溶液」です。温泉法では、源泉の温度が25℃以上、または一定濃度以上の特定成分を含むものを「温泉」と定義しています。

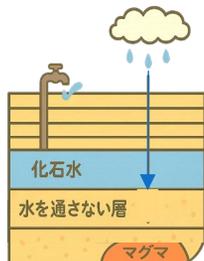
日本には約28,000本の源泉があり、多くは雨水が地下に浸透・加熱されたもので、数十年で地表に戻ることもあります。一方で、数万年～数千万年規模で閉じ込められた「化石水」起源や、有馬温泉のように海洋プレートの水が起源のものもあります。

温泉が地表に出ると、無色透明で湧出した温泉が、時間の経過と共に色が変化することがあり、これは溶けていた成分が酸化などにより変化することで起こります。また、温度・圧力の変化や成分の酸化により、溶けていた成分が再び固体となり「湯の華（温泉スケール）」が生じます。

この湯の華ですが、配管の詰まりを引き起こすため、管理者の悩みの種でもあります。一方で、清掃日には温泉が乳白色になるなど「特別な日」として活用される例もあり、秋田県玉川温泉の「北投石」など、地学的・歴史的価値も持ち合わせています。なお、北投石はその由来となった台湾の北投温泉と玉川温泉の2カ所でのみ確認されており、玉川温泉のものは国の特別天然記念物に指定されています。

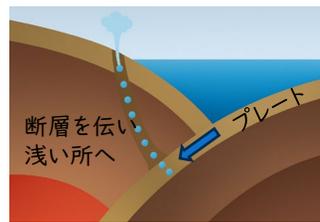


雨水が浸透する場合



化石水による場合

温泉のできかたの一例



プレートの中の水による場合

